

第 1 次小鹿野町国土利用計画 策定経過

年 月 日	事 項	主な検討内容等
平成 21 年 10 月 1 日	計画の事務局案を作成開始	
11 月 24 日	庁内各課に計画案について意見照会	
12 月 4 日 ～16 日	各課からの意見に基づき計画案を修正	
12 月 17 日	県土地水政策課に計画案について意見照会	
平成 22 年 1 月 14 日	総合振興計画審議会（第 1 回）	計画案について審議会に諮問
1 月 27 日	県土地水政策課から計画案に係る意見について回答	
1 月 28 日	総合振興計画審議会（第 2 回）	計画案について審議
2 月 8 日	総合振興計画審議会（第 3 回）	答申案について検討
2 月 15 日	総合振興計画審議会から町長に答申	
3 月 8 日	平成 22 年 3 月定例町議会に「議案第 25 号 第 1 次小鹿野町国土利用計画について」を上程	
3 月 12 日	平成 22 年 3 月定例町議会において同案を可決	
3 月 24 日	県土地水政策課へ第 1 次小鹿野町国土利用計画の策定について報告書を送付	

小鹿総政第 376 号
平成 22 年 1 月 14 日

小鹿野町総合振興計画審議会
会長 小出勝也様

小鹿野町長 福島弘文

第 1 次小鹿野町国土利用計画（案）について（諮問）

小鹿野町総合振興計画審議会条例第 1 条の規定に基づき、下記の件について貴審議会の意見を求めます。

記

第 1 次小鹿野町国土利用計画（案）

平成 22 年 2 月 15 日

小鹿野町長 福島弘文様

小鹿野町総合振興計画審議会
会長 小出勝也

第 1 次小鹿野町国土利用計画（案）について（答申）

平成 22 年 1 月 14 日付け小鹿総政第 376 号で諮問のあった下記の件について、本審議会は慎重に審議を行った結果、別紙のとおり答申します。

記

第 1 次小鹿野町国土利用計画（案）

答 申 書

小鹿野町は、広大な森林をはじめとし、太古を語る地質資産などの豊かな自然環境と、地域に受け継がれた祭りや歌舞伎などの伝統文化に彩られた町です。私たちを取り巻く環境は、これまでの景気の拡大に伴う開発の時代から、自然と共生し、持続可能な社会を目標とする時代になりつつあります。既に日本は、人口減少と少子高齢化の社会となり、地方の市街地はもちろん、都市にあっても、人口減少と空洞化が進行しています。「コンクリートから人へ」の国の掛け声を待つまでもなく、既に町においては「人と自然が共に輝く活気あふれる町」を目標に掲げた第1次小鹿野町総合振興計画基本構想を策定し、人を大切に、安全・安心で持続可能なまちづくりに向け、発進しています。この計画に基づき、町民の意向を積極的に取り入れながら、第1次小鹿野町国土利用計画の推進に努めていただきたいと思います。

本審議会は、慎重に審議を行った結果、第1次小鹿野町国土利用計画（案）については、第1次小鹿野町総合振興計画基本構想に即して町の方向性を示す内容となっており、概ね妥当なものであると判断いたします。

なお、次の意見、要望について配慮され、計画の実現に向けて尽力されることを望みます。

■意見、要望

- 1 市民農園や企業による農地利用の解禁など、自由度が増す農地利用の流れを受け、就農を希望する都市からの移住者などが農地をより利用しやすくする方策の展開を望みます。
- 2 新緑の山々と谷間の清流、歴史的な街並や手入れがされた農地は、都市住民の憧れでもあります。また、ようばけや犬木の不整合は、価値のある地質資産です。これらの観光資源を維持・保全するとともに、各地域へのアクセス道の整備や携帯電話等の利用可能区域を拡大するなど観光基盤の充実を望みます。
- 3 「災害の少ない秩父」をPRするとともに、長尾根トンネル、一本杉トンネルなどの広域道路網の整備をすすめ、企業の誘致活動を引き続き推進するよう望みます。
- 4 本町の83%を占める広大な森林は、貴重な財産であり、湧水や洪水を緩和する緑のダムであると同時に、太陽の恩恵をエネルギーに変える究極のエコ発電所でもあります。林道等の基盤整備を引き続き推進するとともに、森のいやし効果や間伐材の利用など、新たなアイデアによる産業の創造を望みます。
- 5 こんにゃくやしやくし菜などの町の特産品の加工や販売など、すでに始まっている取組を、元気な高齢者の力を生かし、農商工の有機的な連携により、野菜工場など地元発の新しい産業を育成し、生涯現役のまちづくりを図ることを望みます。
- 6 地域主権の時代にふさわしく、町民一人ひとりが、地域の振興と安全・安心な暮らしのために一生懸命考え、県や国との対等な連携の中で積極的にチャレンジできるような土地利用を望みます。
- 7 空き公共施設及び施設用地の利用状況の公開などにより、町民からの提案等による有効活用を図ることを望みます。
- 8 土地はいったん手を入れると容易に復元できないので、開発行為や土砂等の埋め立てについては、土地利用関係法令や町の条例等の適正な運用を望みます。

小鹿野町総合振興計画審議会委員

	区 分	氏 名	備 考
1	農業に関し知識経験を有する者	黒 沢 司 満	
2		黒 田 進	
3	商工業に関し知識経験を有する者	増 田 英 雄	
4		田 中 弘 伶	審議会・会長代理
5	社会福祉に関し知識経験を有する者	加 藤 和 子	
6		犬 木 徳 則	
7	保健及び医療に関し知識経験を有する者	横 田 泰 子	
8		小 出 勝 也	審議会・会長
9	教育及び文化一般に関し知識経験を有する者	高 橋 幸 三	
10		齋 藤 榮 一	
11	町長が必要と認める者	糸 紀 子	
12		新 井 昇	
13		今 井 敏 夫	
14		須 崎 真紀子	